



とよおか

第 15 号

平成14年4月30日

議会だより

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷株



春祭り風景

3月定例会

3月定例会の様子	2~3
予算特別委員会の質疑から	4~7
一般質問の様子	8~12
議員自主研修報告	12~13
QアンドA 一貫道路(田村)補償問題の議会の対応	12~13
委員会だより	14~15
「私の一言」、広域議会、編集後記	16



歳入に社会福祉協議会の運営基金積立金を村に返還するとした五千四百万円が計上されていたが、審議過程で社協としての組織決定手続きの不備や積立金の返還(移管)そのものに疑問の声もあり、当初提出された予算案は撤回。あらためて提出された審議したもの、結局この部分を削除した修正案が再提出され可決された。その結果、総額四十億六千三百四十五万三千円となった。

主なものは、減債基金取崩しによる起債の繰上げ償還に七千九百万円、一貫道路用地・補償費の追加二千七百万円、一般廃棄物処分場用地・補償費に一千八百五十万円、商工振興資金預託金をペイオフ関連で信用保証

補正予算

修正案を可決 一般会計

◆一般会計

り、近い将来使用料の増額も含めた検討が必要な模様である。

以上の当初予算案については、議会では特別委員会を設置。各分科会でそれぞれ一日余、更に全体で一日慎重審議をした結果、原案通り可決した。

◆老人保健医療特別会計

協会から金融機関に積み替える二千七百二十万円。歳入では地方交付税の確定による一億五百万円の追加、交付税措置のある起債の追加五千四百二十万円、介護保険特別会計の前年度精算による繰り入れ一千九百万円等。

◆簡易水道特別会計

入金は二百五十万円の追加。

◆簡易水道特別会計
◆下水道特別会計

ともに、年度末につき、若干の調整等が行われ、可決した。

◆国民健康保険特別会計

議員の発議により議員報酬を二%削減

◆介護保険特別会計

近隣町村などいくつかの議会が、豊丘村議会でも現在の経

◆簡易水道特別会計

維持管理経費が主体で、公債費(借金の返済)の増等で八%の増。公債費は一般会計からの繰り出しでまかなっているが、維持管理費と使用料収入のバランスは現在がぎりぎりである。

◆下水道事業特別会計

千駄木地区の配水池増設等が計画されている。

◆国民健康保険特別会計

国全体の交付税の削減や経済低迷の中で税収が多くは望めない一方で、福祉や環境対策等に年々増加を余儀なくされる傾向にあり、厳しい予算編成がなされたと思うが、一般廃棄物処分場の建設や南保育所の大規模改修が計画されたため、総額では前年度当初予算より五・八%の増となった。

◆簡易水道特別会計

前年度の実績や今後の利用見込みにより編成。介護保険計画見直しの年であり、今年度の実績、利用状況等が十五年度以降の保険料算定の基礎となる。

◆介護保険特別会計

負担の増や、十月からの自己負担限度額見直しはまだ不透明の部分があり、当初予算には反映されていない。

◆議員提案意見書

○ペイオフ解禁後における地方自治体の公金預金の保護を求める意見書



あさぎりの郷オープン

一般廃棄物処分場、南保育園大規模改修など 新年度予算 総額34億9,400万円

(一般会計)

三月定例会のようす

第一回定例会が三月十二日から二十八日までの会期で行なわれた。条例案や十三年度補正予算と十四年度予算案が審議された。最終日にはペイオフ対策を国に働きかける意見書を含む四件の意見書が採択された。

◆一般会計

国全体の交付税の削減や経済低迷の中で税収が多くは望めない一方で、福祉や環境対策等に年々増加を余儀なくされる傾向にあり、厳しい予算編成がなされたと思うが、一般廃棄物処分場の建設や南保育所の大規模改修が計画されたため、総額では前年度当初予算より五・八%の増となった。

◆介護保険特別会計

負担の増や、十月からの自己負担限度額見直しはまだ不透明の部分があり、当初予算には反映されていない。

◆簡易水道特別会計

千駄木地区の配水池増設等が計画されている。

◆国民健康保険特別会計

会計年度区分の変更により十一か月分の予算編成でありながら、厳しい雇用情勢を反映した国保加入者の増加や医療費の伸びにより〇・九%の増となっている。

◆老人保健医療特別会計

当初予算として初めて八億円を突破。四月からの外来一部負担の増や、十月からの自己負担限度額見直しはまだ不透明の部分があり、当初予算には反映されていない。

◆下水道事業特別会計

維持管理経費が主体で、公債費(借金の返済)の増等で八%の増。公債費は一般会計からの繰り出しでまかなっているが、維持管理費と使用料収入のバランスは現在がぎりぎりである。

現在、議員歳費で年額二百六十八万二千二百六十円だが、二%相当額は、五万三千六百二十五円になる。これを六月と十二月の期末手当分から減じる。

◆簡易水道特別会計

現在、議員歳費で年額二百六十八万二千二百六十円だが、二%相当額は、五万三千六百二十五円になる。これを六月と十二月の期末手当分から減じる。

◆下水道特別会計

維持管理経費が主体で、公債費(借金の返済)の増等で八%の増。公債費は一般会計からの繰り出しでまかなっているが、維持管理費と使用料収入のバランスは現在がぎりぎりである。

◆国民健康保険特別会計

国全体の交付税の削減や経済低迷の中で税収が多くは望めない一方で、福祉や環境対策等に年々増加を余儀なくされる傾向にあり、厳しい予算編成がなされたと思うが、一般廃棄物処分場の建設や南保育所の大規模改修が計画されたため、総額では前年度当初予算より五・八%の増となった。

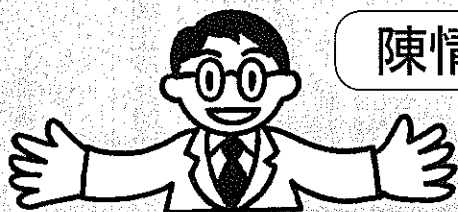
◆介護保険特別会計

負担の増や、十月からの自己負担限度額見直しはまだ不透明の部分があり、当初予算には反映されていない。

◆議員提案意見書

○ペイオフ解禁後における地方自治体の公金預金の保護を求める意見書

陳情・請願



- ◎パルム、豊丘郵便局の間に横断歩道設置の要望—不採択
- ◎三十人学級の早期実現、教職員の定数増を求める意見書の提出に関する請願—不採択
- ◎若者向け村営住宅の早期建設についての請願—採択
- ◎誰もが安心してよりよい医療を受けられるための陳情—採択
- ◎安心の医療制度への抜本改革を求め、負担増に反対する陳情—採択
- ◎難病対策や小児慢性疾患対策の充実等を求める意見書の提出についての陳情—採択
- ◎滞在型の農業体験宿泊施設の設置に関する陳情—不採択
- ◎伴野原梨園地西側の土地有効利用についての陳情—不採択
- ◎雇用の危機突破を求める意見書提出を求める陳情—採択

済状況や村財政を考慮し議員提案により、報酬を二%削減することになった。

現在、議員歳費で年額二百六十八万二千二百六十円だが、二%相当額は、五万三千六百二十五円になる。これを六月と十二月の期末手当分から減じる。

◎職員や委員の旅費に関する条例の改正

今まで旅費についてはそのキロ数に応じて支給されていた。五十キロ以内は七百円支給されていたのを廃止、五十キロ〜百キロで諏訪、松本程度だが二千円だったのが千円に、百キロ〜二百五十キロは長野、名古屋程度で五千円だったのが二千円に、二百五十キロ以上は東京大阪くらいで八千円だったのが六千円に改定された。

仮りに前年度と同程度の出張で約百六十八万円程度の削減になる。

◎こぶしが丘パターゴルフ場及び多目的広場の利用料が無料に

利用者数がいちじるしく少ない両施設だが、パターゴルフ場は前年度の利用率収入は年間で十六万円で、大人一人村内で五百円となっ



全員賛成で可決した議員報酬削減

使い方を聞きました

その1

平成十三年度補正予算第四号および、平成十四年度当初予算案三十四億九〇〇〇万円の審議がおこなわれ、それぞれ原案どおり可決されました。主な審議内容を拾ってお知らせします。

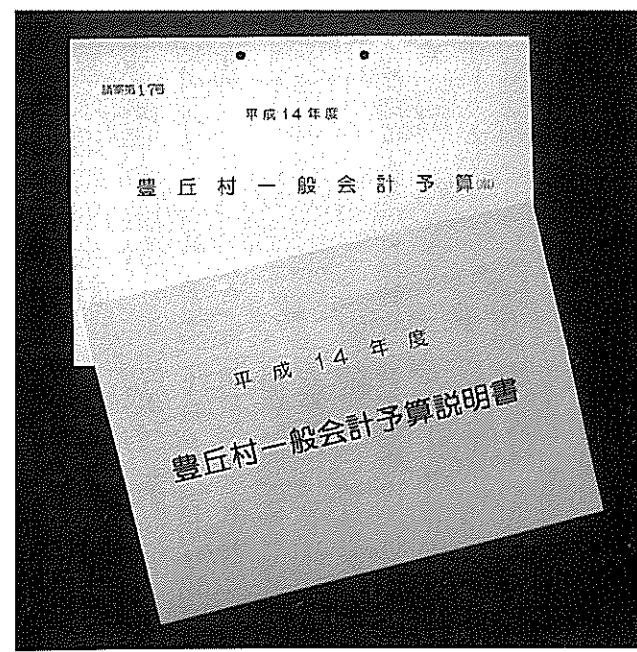
補正予算第四号の審議から

林議員 土地購入費十四万円の説明を
教育長 佐原線中学校入口の竹林の購入費、特殊学級の教材用の竹を自由に求めたい。
林議員 それなら竹だけ買うわけには行かないか
村長 中学校に大型バスが入れない。将来改良が必要なので先のこととも考え買おうことにした。
鹿角議員 合併浄化槽設置費が残っているがなぜか、どうすずめているか。
環境課長 今年は一基設置した十四年は二基計画している。高齢で設置がむずかしい世帯が三十戸残っている。
北沢議員 生ゴミ処理機の補助金が残っているがなぜか。
環境課長 処理機の価格が高い為に思ったように伸びていない。
北沢議員 処分場の土地購入費増額修正してある。よく調査して慎重に地権者に提示すべきではなかったか。
環境課長 購入単価に一部不手際があり増額となった。調査不足であったのでお詫びする。

歳入では地方交付税が一億円余追加され総額十九億四千万円昨年比一億五千万円弱の減少となった。
歳入の中に社会福祉協議会からの戻入金が組込まれていたが、提出に当たって必要な手続き、調査等に不備が指摘され、戻入理由も明確でないことから予算原案を修正する一幕もあり、議会のチェック機能が働いた。

徹底した行政経費の節減 平成十四年度予算審議 総務課長から

Q 一般職員の人件費は総額五億五千万円で村税収入と概ね同額である。職員数、金額はどうなっているか。どう減額をしていく予定か。
A 職員数は平成十一年九十四名平成十四年百一名で七名増で金額で三千三百万円増である。増加理由は介護保険、だいち、子育て支援等である。



行政経費節減の14年度当初予算

助役 今後庁内の行政改革委員会をよく検討し善処したい。
村長 課統廃合で課内で補完して行きたい。
鹿角 超勤はどの位か、多い課はどこか。
村長 公民館関係が多い、年間一千万円程度ある、十四年度はきりつめて行きたい。
唐沢議員 社協から戻った職員は増員か
村長 松くい虫対策に当て、豊丘としての特長のある対策、景観形成等モデルになるような取り組みをしたい。
吉川議員 防犯灯設置補助金があるがどこにどのように設置する計画か。
総務課長 竜東一貫道に計画している。今年四十基、北はまだ工事中なので南から設置することになると思う。
前沢議員 ペイオフの対策はどうなっているか。
収入役 国債を買うことは考えていない。総額十六億余であるが殆んどがJA南信州に預入れであり、今は金融機関を変えるつもりはない。
村長 広域連合でも検討しているが各町村も同様の方針である。
※この件は議員発議で国の関係機関に保護を求める意見書を提出することになっている。

税金の

予算特別委員会 質疑答弁から

ホームステイ 有線のデジタル化は

菅沼議員 ホームステイ事業について改善の必要があると思うがどうか。
総務課長 見直しをして行きたいと考えている。
北沢議員 有線事業費の動向とデジタル化研究会の研究はどうなっている。

福祉医療・保育園・ 学童保育 住民課関係から

奥山議員 今回小学校三年まで医療費を無料にする計画になっ

ているが、一律のばらまきでなく病気を指定するか、所得制限を定めるか工夫が必要ではないかと考えるがどうか。
唐沢議員 命を守ることは憲法に保障されていることであり、近隣町村も一律なので同じようにすべきと思う。
片桐議員 精神障害者の事務が四月、町村に移管される。障害に対

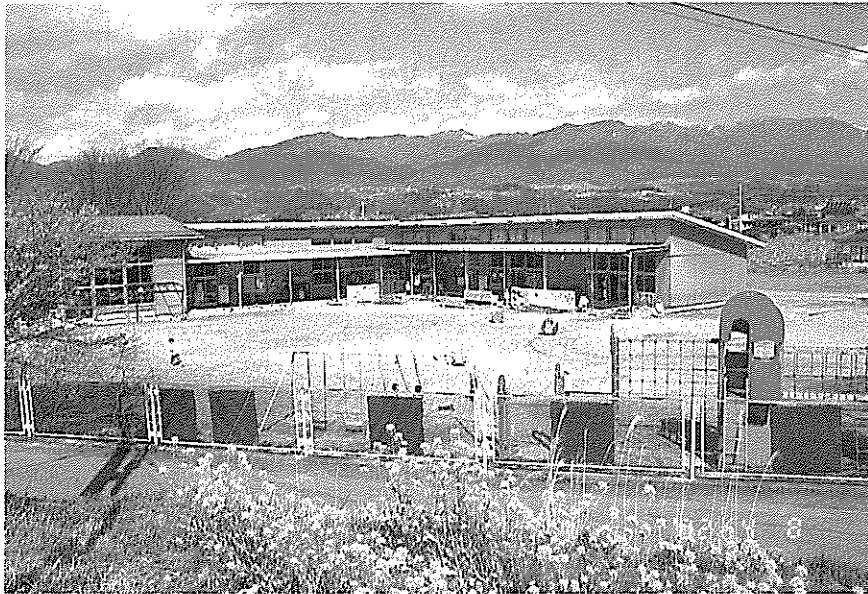
する正しい理解を持つための啓発活動をすべきでは。
住民課長 有線TVや広報でやりたいと考えている。
鹿角議員 県では介護慰労金を打切る方向だが村ではどう考えているか。
村長 国、県につながる施策を考えて行きたい。村ではまだ続けて行くべきだと考えている。
奥山議員 保育所運営費では村の負担はどの位になっているか。
保険料を五百万円減額した場合近隣町村と比較してどうか。
保育所長 三保育園の運営費の総額は一億八千四百万円、国県で二千五百八十万円、保護者負担四千二百三十万円、村負担一億千六百五十万円である。十四年度五百万円減額すると近隣町村で一番低額になると考えられる。

家庭用焼却炉が使えなくなる 対策は 環境課関係から

吉川議員 十二月から紙製容器の収集がはじまるようだが、月一回では少ないと言っているがどうか。
唐沢議員 ゴミの減量化、リサイクル、リユースの徹底を計ることも要望する。
環境課長 桐林に建設中の焼却炉が稼動するが、今迄一日百二十ト焼却できたものが九十三トに減るのでゴミの減量化に協力を願いたい。
北沢議員 村の処分場の設計費が盛られているが財政見通しは。環境課長 現段階ではヒヤリングも国の内示も来ていないが、起債での対応も考えている。



12月から使えなくなる家庭用焼却炉



改築が計画されている南保育所

税金の使い方を聞きました

予算特別委員会質疑答弁から

その 2

有害鳥獣、松くい虫対策は産業建設課関係から

池田議員 農業体験宿泊施設の検討委員会報酬が今年も四十一万円計上されているが、いつまで検討するのか

産建課長 一年間審議したが結論に至っていない。今年六月頃までには結論を出したい。

北沢議員 有害鳥獣駆除の対策費が昨年から大幅に伸びている。今後はどのような方向で考えているか。

産建課長 網、トタン等の予防策はかなり行きたって来ているので、今後は補助を削減して捕獲する方向に予算を振り向け

ていきたい。
Q 林業振興費の中の委託料九千八百万円の中で松くい虫対策に関連する予算の説明を

A 現在まで続けて来ている伐倒駆除だけでは追いつかなくなっている。昨年から樹種転換、路側帯整備事業を取り入れて来たが本年から信濃幹線より上に空中防除を取り入れる計画で費用は次のようである。

伐倒駆除	約五千九百万円
樹種転換	約九百万円
空中防除	約一千万円
路側帯整備	約千四百五十万円
支障木刈払	約六百五十万円
計	九千九百万円

整備された路側樹林帯

唐沢議員 以前空中防除の反対陳情が出されていたが、村内の同意は得られているか。

産建課長 反対陳情の四項目についてその対応策を以って懇談会を行い、全村で同意を頂いている。空中防除は村の特産である松茸を守るために信濃幹線より上の部分に防除帯を作り、それより上への侵入を防ぎたい。

区長会の同意も頂いている。尚雇用創出の費用で倒木処理や伐倒燻蒸のビニール処理を行うよう計画している。

吉川議員 農産物加工組合の補助金と運営状況はどうか。

産建課長 三年間で六百万円補助することになっており今年二百万円、残り百万円である。使途は別に定めはないが三年後は自立運営をして頂くことになっている。

田中議員 広域農道推進委員報酬七十七万あるが、委員は何か、今後どう取組んでいくか。

産建課長 地域代表、期成同盟会を含め五十九名、農道は進めることになっているが投資対効果の面で、県の方向が出ていないので現在は中断の形である。

久保田議員 観光協会の補助金はどう活用されているか

産建課長 松茸観光十万円、藤保存会十万円、村内名所等のP

予定されている空中防除



消防団員の確保と対策は消防の崇高な使命認識を

北沢議員 消防団員の確保ができていないのではないか。入る人とならない人の不公平感や不満がある。消防の担っている生命財産を守る重要な使命を保育園、学校、老人クラブ、広報等で啓蒙する必要がある。

林議員 道路網も整備され万一の時は常設消防の方が出勤が早い。二百二十名の定員が必要かどうか消防委員会で検討すべき課題と思われるが。

村長 不公平感を少しでも緩和する為に分団維持交付金を倍額に予算計上した。今の団員数が必要かどうかについては第四次の振興計画の中で検討して頂き

たい。
菅沼議員 小中学校の不登校、いじめはどうか。

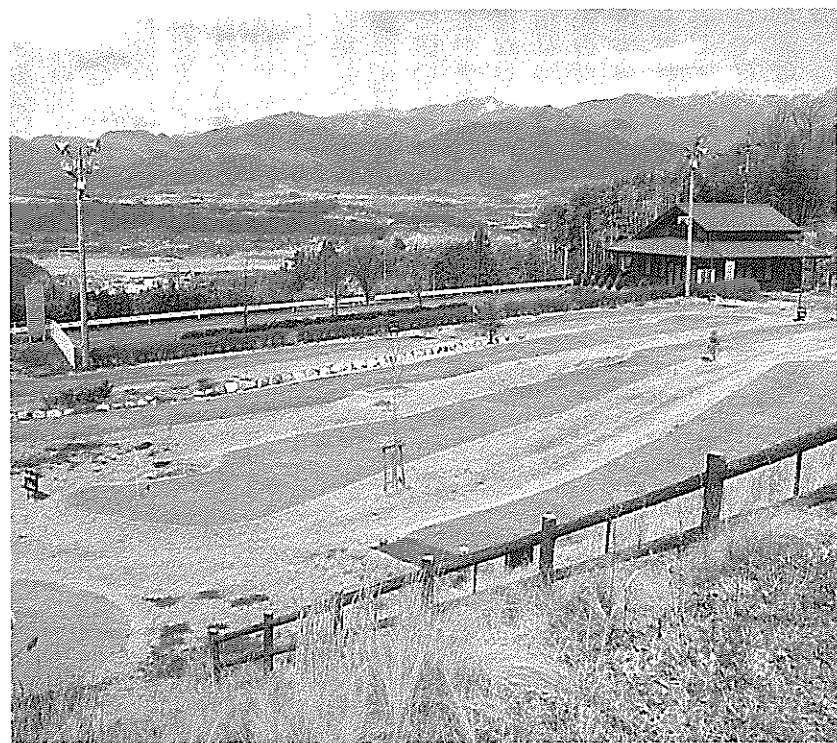
教育長 いじめはない。残念ながら不登校は増加の傾向になっている。

Q 公民館長が交替するようだが、今後はどうするつもりか。

A 役場職員が館長になることは特別で二年間のみである。公民館運営委員会からは「これが例にならないように」との意見があった。

林議員 三者懇談会に米飯給食四回の希望が出ていると聞いているがなぜできないか。

教育長 給食費にすぐはね返ってくるのですぐはできない。米飯よりパンを好む生徒もある。林議員 学校教育の場で食材に



管理人がいなくなるバターゴルフ場

豊丘産の農産物を使うよう教育委員会でも進めるべきだ
教育長 学校給食運営委員会で検討していただく。

Q パターゴルフ場の利用者減で条例改正が提案されているが、利用したい場合道具を別のところに借りに行くことになり更に利用しにくくなる。いっそう閉鎖するか他の目的に転用した方がよいのではないか。

A 総務委員会で審議しているが村の原案を認める方向である。

Rに三十万円である。
筒井(卓)議員 村内土木業者に発注できる工事予算は昨年の当初予算に比べ三千円少なく、昨年は補正五千万円しているのが都合八千万円少ないことになっている。六月の補正で相当額を考えているか。

村長 財源調整しないと分らないができるだけ対応したい。
下平議員 不況対策としては保証協会補給金、不況対策資金の利子補給を行っているが昨年末からの利用状況はどうだったか。

産建課長 不況対策九件、若手経営者三件で融資総額は九億四千円であった。今年も利子補給八件百三十万円と今年限りではあるが共通商品券補助金として三百万円を計上している。

このほか国保、老人医療、介護保険、上水道、下水道等の特別会計の審議が行われたが原案通り認められた。老人医療費は前年対比一〇%の伸び、介護保険は居宅介護が増加、上水道では千駄木配水地の増設。下水道は現在の料金徴集額ではランニングコストを賄えておらず近い将来引上げを行わなければならない状況にあることが主な点でありました。

75,000 円

問 質 一般

質 合併促進のための交付税減額は 国の政策はおかしい

片桐 秀人

質問 町村合併について村長の認識をお伺い致します。

一、今回の町村合併の意義をどうとらえられておられるか、更に全国市町村長会はどうとらえているか伺います。

二、県は合併の効果として広域的なまちづくり、行政サービスの向上、行政運営の効率化を上げていますがこれをどう受け止めておられますか。

三、合併を促進させるための交付税の段階補正の見直しをする動きがあるがどう考えているか伺います。

四、合併すれば合併特例債が認

められますが、将来この償還が困難になると懸念されますがどう考えておられますか。

五、合併について住民投票を行うつもりはあるか伺います。

村長 今回の合併は少子高齢化、地方分権、危機的財政状況等への対応のためであり、全国町村長会は政府に対し、①町村合併の理念と目的を明確に ②合併の数値目標を設定しない ③合併を強制しない ④合併強制のための交付税の算定見直しをしないことを要望している。

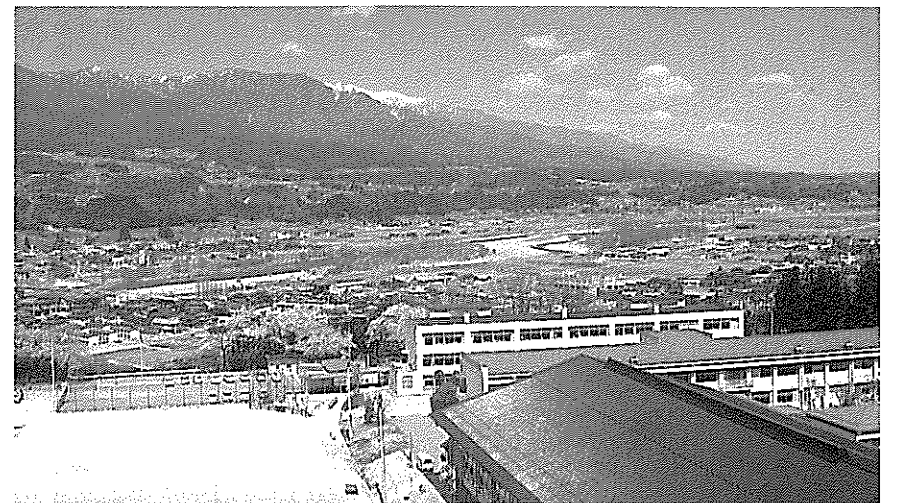
合併の効果について幹線道路や箱物等大プロジェクトは可能

になるが行政サービスの向上は一概には言えない。行政の効率化は一般論としては可能になると考える。

交付税の段階補正については地方交付税法、地方自治法の主旨から言っ

て国の政策はおかしいと言わざるを得ない。合併特例債については十年後の財政負担を考

えて事業執行を行わなければならぬ。住民投票については答弁を差し控えて頂きました。



林原公園から下伊那北部をのぞむ



質 市町村合併についての考えは 前沢 光 昭

前沢 光 昭

質問 合併特例法の期限が二〇〇五年までということ各市町村では研究委員会などを立上げ資料の作成などしている。期限に間に合わないで大慌てで形ばかりのアンケート、説明会で住民にろくな情報も与えず、行政側だけで決めてしまう傾向が多く、すでにそれだけで合併してしまつたところもある。肝心の住民の存在が忘れられている。

質問 合併特例法の現状や今後の考え、村長自身の考え方は。

村長 村政懇談会での住民の意見はこの問題のすうせいにかかわらず、深く研究する必要がある。豊丘だけがたんぼさじきにされないように、住民にも資料を提供してほしいと要望があった。こういうことを国が主導で進める以上どうしても資料も中心になる。村長の見解として

は、まだもやもやしている。財政問題は真剣に研究せざるを得ない。

ペイオフ対策について

質問 四月からのペイオフ解禁で一千万円以上の預金は保護されなくなる。公金そのものも対象となるが対策をどう考えるか。

豊丘村の公金の預金状況は。

村長 全国の自治体が公金保護に提案してある。

政策課題については、討論会や研修会を通じて、職員の方からの提言を待っている。課長を中心とした自主性を大切にしていきたい。

質問 交付税減少への対応はどうするか。

村長 例えば道路整備等で、理想的な道路も出来なくなることもある。ねばならない。

質 どう導くか課題の方向 奥山 義 臣

奥山 義 臣

質問 町村合併、旧役場跡地の活用、当面する課題への対応の三点をお聞きして、四年目を迎えた首長としての基本姿勢、村政の背骨のあり様を教えてください。

○町村合併について

十七年三月という町村合併の期限についてこの地域の状況は静かに見守るまま何の動きも始まりそうにない。どう考えておられますか。

合併しない場合は財政的な窮地に追い込まれると思われま

○福祉センターをどうするのか、予算規模をどの位と考えているか、いつ頃取り組むことを目標としているかをお聞きします。

四年目にめざす課題について三年間の経験をもとに、自分のめざす理想の実現の為に何を指

示しましたか。

村長 国の町村合併の進め方には大きな問題がある。弱小町村いじめでなく全体が良くなるような進め方であってほしい。

旧役場跡地活用の件は、庁内の意見交換をしているが、まだ充分煮詰っていない。他町村との広域的活用についても雑談的

質問 町村合併、旧役場跡地の活用、当面する課題への対応の三点をお聞きして、四年目を迎えた首長としての基本姿勢、村政の背骨のあり様を教えてください。

○町村合併について

十七年三月という町村合併の期限についてこの地域の状況は静かに見守るまま何の動きも始まりそうにない。どう考えておられますか。

合併しない場合は財政的な窮地に追い込まれると思われま

質問 町村合併、旧役場跡地の活用、当面する課題への対応の三点をお聞きして、四年目を迎えた首長としての基本姿勢、村政の背骨のあり様を教えてください。

○町村合併について

十七年三月という町村合併の期限についてこの地域の状況は静かに見守るまま何の動きも始まりそうにない。どう考えておられますか。

合併しない場合は財政的な窮地に追い込まれると思われま



活用の検討が始められる旧庁舎跡地

問 質 般

質 建設工事予定価格の入札前公表を

答 県の実施状況をみて研究を深める

唐 沢 啓 六

質問 ⑬十三年度における村発注の公共工事の落札率(予定価格と落札価格の比)は、⑭予定価格と落札価格が一致する「同額落札」が十三年度の土木工事中、四十%余と高率である。このことについての見解は、⑮予定価格を入札前に公表している自治体が増えており、その結果落札率が数%下がっている。長野県も十四年度から事前公表を実施すると報道されている。本村においても、行政経費節減の見地から、予定価格の事前公表にふみきるべきと考えるが。

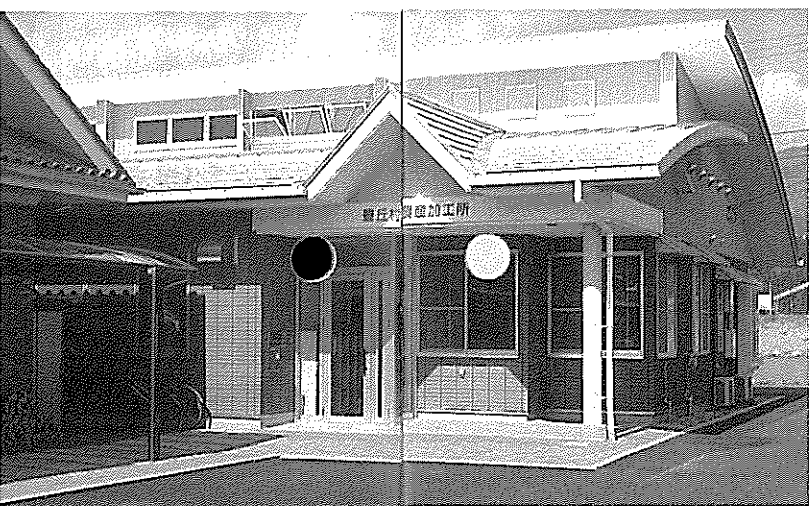
村長 ①土木工事四十二件では、九九・七%である。②私自身も不思議に思い課長会でおかしいことだと言ったが、業者も設計単価を承知しており、正確な積算が可能なので同額落札はあり得ると担当からは聞いている。③落札価格の高止まりを懸念されることもあり、県の実施状況を見ながら研究を深めたい。わかりやすい予算説明書の作成を

ある。むずかしい行政用語をわかりやすい表現に置きかえて、誰もが読みたいと思えるような予算説明書を作成し、全戸に配布することを検討すべきでは。村長 十三年度は広報で二ページで説明したが、十四年度は八ページでできるだけわかりやすい予算説明書を作りたいと考えている。



質 公共建物は使い勝手を中心に

北 澤 貢



反省は新たな施設に活かされているか

質 公共建物は使い勝手を第一に考える

答 経費節減と機能を

質問 今までに公共建物を建設してきたが、評価反省をした事があるか。この間に建設した建物の使い勝手や不向き等の意見を次の建物に反映してきたか。建設委員会には専門的な知識を持った人は何人入っていたのか。ある程度、増やして専門的な知識を借りることも必要と考えるが。農産物加工センターが使いやすい、使えない道具でなくほ

しい必要な道具に変えてほしいとの意見がある。建物として施設として、使い勝手の悪いことは一番の欠点だ。どこまで要望に応えられるのか。村長 建物の評価反省については担当課で絶えず気配りをしていく。使い勝手が悪いというような意見があれば、次の建築、事業で参考にしていく。また、ある程度知識人という

方にも建設委員会に入っていただいたいでいた。農産物加工センターについては加工組合の方にも加わっていただき検討してきた。反省する部分も正直ある。当面我慢して使ってもらい改善できることは改善していきたい。質問 たとえばリンゴっこ公園のトイレを見ても形にこだわりすぎ狭くてトイレの機能が満た

されていない。今後は複雑な建物や外見にとられるのではなくシンプルで機能が充分生かされる建物とすべきと考えるが、村長 これからいっそう経費の節減が基本となる。施設としての機能を第一に考えていけるよう取り組んでいく。

質 夢の長期振興計画について

田 中 実

質問 豊丘村では、第三次の振興計画が、本年度で終り、それぞれ十年を単位に進めて来ましたが、第四次の計画が今検討されていますが、これとは別に五十年を単位に百年先を見通した、夢の計画をプロと共に見立て、理事者が変わっても、たとえ合併したとしても、この基本線は、夢の将来像として変らない計画を。リニア新幹線飯田駅を、豊丘の中段地帯に、駅舎の用地を確保する案など、いろんな描き方があると思います。五十年先の行政のスリム化、理事者と課長程度が本庁舎に居て、他はす

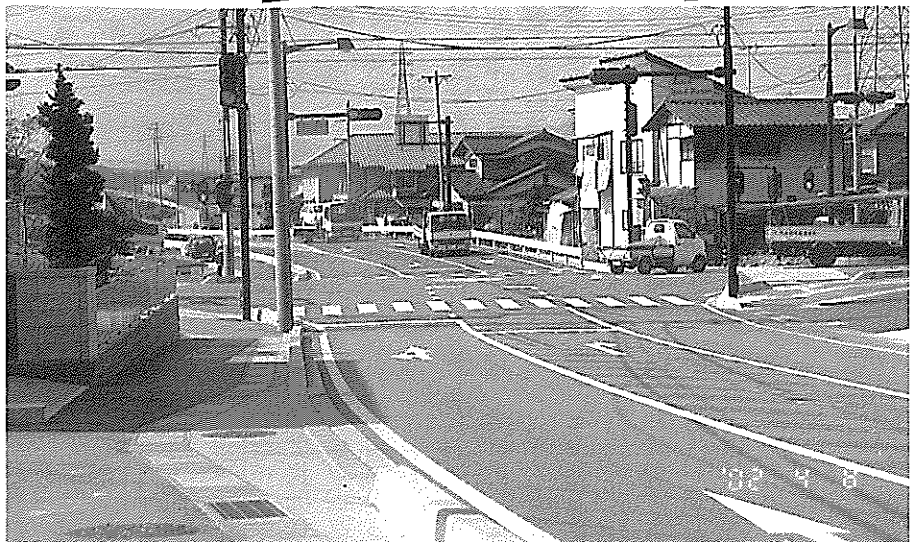
べて民間に委託運営している絵を描き、ソーラー電化住宅に、都市部から殺到して、三年から五年またなければ、豊丘に住めない様な夢の立案を、第四次と共に進めてはどうか。湿地帯を生かした自然の活用、小鳥のサエズリを聞ける、村有林の解放、河野と伴野工業団地にも天竜川に架橋。地球全体の食糧不足の時代が遠くないのでは。農業大学の研究所の誘致等、現実的な検討も。村長 地方分権の時代を向えて今までも、それぞれにタイトルを付けて進めて来ました。出来

そんな夢と、空想的な夢、それぞれ入り混じって楽しい将来的な夢を語り合いながら、策定してまいりたいと思っています。百年前には月、火星へ行くなんて夢にも思っていなかった事が現実です。しかし行政で計画と言うと、財政的なことが、どうしても頭から離れないわけで緑豊かな豊かな環境を守り、住み良い現実的な振興計画になって来るんだらうと思えます。



昨年夏から行われた地区懇談会

一般質問



行政の継続と首長の執行責任 行政の力不足精一杯の解決

久 豊 平 下

質問 先の村政懇談会で、竜東一貫道路に対する行政側の不手際や高額な補償支払いへの批判的意見に対し、ルート変更や新庁舎完成に併せた北側工事の優先、それに伴う南側地権者への対応の遅れ等々、これらは前村長によるもので現理事者はその尻拭いであるかのようなニュアンスの説明がされ、住民監査請求の請求者はたまたま河野地区の方々であったのを、あたかも松村前村長派の策略だとの風評もある。

村長 行政の継続性と行政上の責任については、当然現在の最高責任者にあるという立場で考えお詫びもしている。

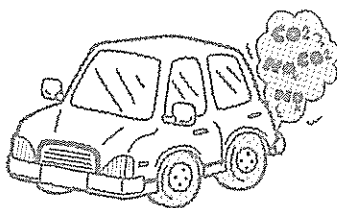
質問 竜東一貫道路の田村南側工区の工事発注の経過を見ると、地権者との最終的合意・契約がないにも係らず工事に着手し、途中でその部分を工事から除外

して地権者宅を道路で挟みつけにするような状態にする等、交渉をより難しくした行政の不手際が現村長により行われたと思うがどうか。又、議会では、この事は何ら説明されず専ら前任者による北側工事のことばかり言われたのは何故か。

村長 南側道路は継続性がある。不審を抱いたり湾曲した現状は行政の力不足で精一杯だった。意見 基本的には計画し、実行の緒につけた当時の理事者に責任があるといった論法で、実際の自らの不手際を回避するようなことがあってはならない。行政の継続には、善悪両面ある。時々首長が引継ぎ行政手腕を発揮し懸案を具体的に解決する中で真価を問われる。仮にも前理事者に責任転嫁をすることなく行政執行に専念されるよう期待する。

議員自主研修報告

二期の議員五人で自主研修を行いました。研修内容は、第四次総合計画でも論議されるであろう図書館及び文化施設について、すでに施設のある中川村富

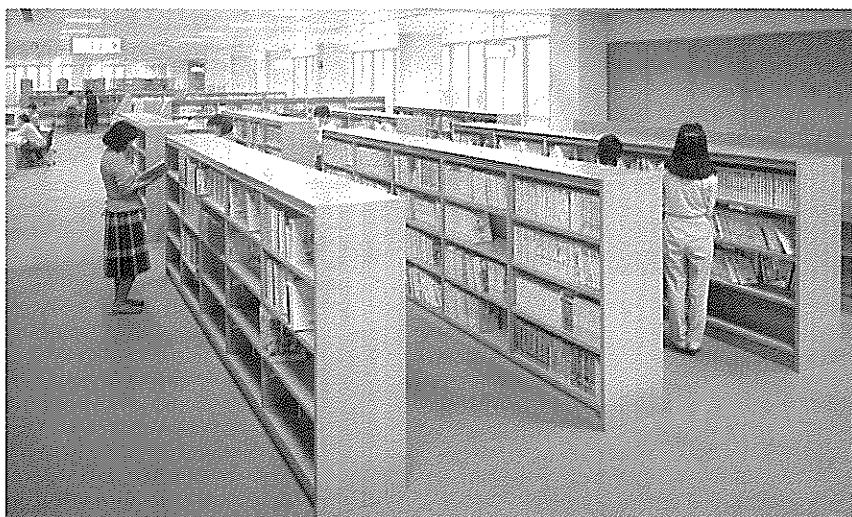


士見町、宮田村を見してきました。中川村の場合やはり公民館内に図書室という形であった。住民から充実した図書館の要望が出されていた。このような経過

二見町、宮田村を見してきました。中川村の場合やはり公民館内に図書室という形であった。住民から充実した図書館の要望が出されていた。このような経過

から中川中学校のとなり文化ゾーンという形で建設される。図書館は一定の利用がある。文化ホールは同施設と併設で、一番論議があったそうで収容人数は三百人となった。

富士見町図書館は、人口一人から二万人までの自治体では住民一人あたりの貸し出し冊数は日本一を誇る。諏訪広域六市町村の公立七図書館では県内で



富士見町図書館

一貫道路(田村)補償問題の議会の対応

審議を行いました。これには賛否両論あり、それを要約すれば

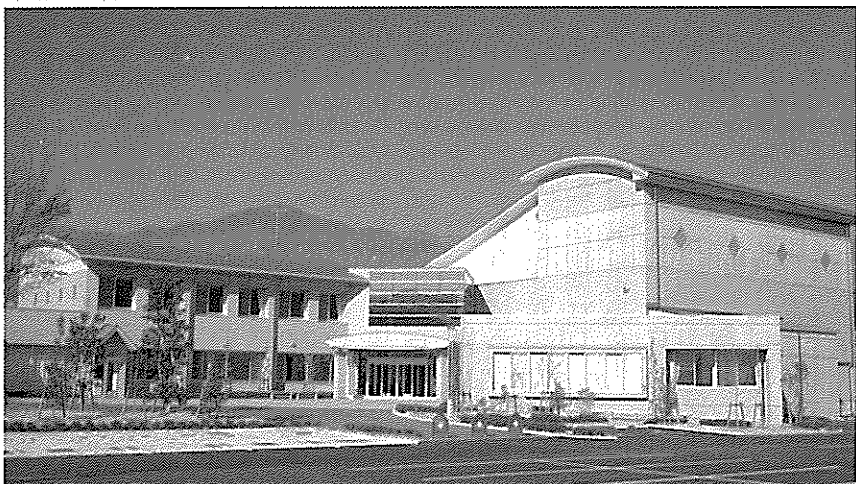
- ・ 村中心部の早期開通は村民の願い
- ・ ここで妥結しないと、以後開通の見通しが立たないのではないか
- ・ これまでの行政執行を反省しながら、ここで決着すべきだ
- ・ 補償額はあまりにも多額で、今まで協力してくれた人との公正を欠く
- ・ 今後の行政の悪例となる
- ・ 更に交渉を継続すべきだ

議員全員が苦渋の選択だったと思いますが、補正予算案は賛成多数で可決され、事業は執行されました。

その後住民監査請求がなされ、それに対する監査結果が公表さ

れた直後の十二月議会全員協議会では、予算を認められたとしても何らかの責任表明をすべきではないかという意見があり、協議しました。ここでも賛否両論あったわけですが、最終的には当該予算案については十分な審議を尽くした結果のことであり、各自が今回の様々なことを教訓とはするが、議会としての責任表明はしないという意見が大勢を占めた次第です。

議会における議案審議は、提案者(執行者)の説明に基づき状況判断等により、各々が賛否の意思表示をして、その多数意見が議会の意見ということになります。各々は、今回のように難しい判断を求められる場合でも、必ず意思表示はしなければなりません。そうした議会の決定(意思表示)に対しては、村民から批判を招くことも、又、そのときベターと判断されても、後日必ずしもそうではなかったと判断されることもあり得る訳ですが、今後とも十分な研究と議論をしつつ村民各位のご期待にこたえて参りたいと思っております。ご理解賜りますようお願いいたします。



中川文化センター(中川村)

も珍しいネットワーク化している。夜間貸し出しも行なっているが利用者はあまりいないという。最後に宮田村を視察。図書館の面積はあまり広くない感じだったが、文化ホールも併設三百人収容だが、ここでは客席を昇降させる施設があり、この施設だけに一億円かけたそうである。

建設準備委員会の段階ではまったく案がなかったそうだが、議会がどこかに視察に行きとびついたようで、実際には現在もほとんど利用していないとのこと。無駄づかいの感があつた。音響も設備には一千数百万かかったそうで使い切ることとはほとんどない。

全体の感想としては、文化ホールも三百人収

前 沢 光 昭

消防団員が足りない 団組織の編成に支障

消防団は毎年四月から新体制で発足します。毎年一月より幹部が新人団員の勧誘をして四月よりの新体制づくりをします。現在豊丘村の消防団は定員二百二十名で編成されており、四月一日発足時点では二百人を割ってしまうとのことです。これは該当年齢になっても消防団に入らない人が多くなったとのことで、幹部が勧誘に行っても、本人に会う前に家族が出てきて「うちの息子は消防にはいけない」と固辞されてしまうケースが多いとのことです。

中には、入団しない人との不公平感が相当にあり「該当年齢で入団しない人からは、協力を徴収するべきではないか」と云う強い意見もあるとの事です。日頃の消防団活動に報い、こういった不公平感を少しでも軟らげてもらう為に、十四年度から分団維持交付金を団員一人当たり五千円から一万円へと倍額アップする事となりました。消防団は村民の生命や財産を守ると云う崇高な使命を遂行すると共に、地域の同輩との交流の場でもあります。消防団活動の中で得た友人が、その後の

社会生活での最も信頼できる友人であることは、私自身の経験でもあります。

豊丘村消防団の定員二百二十名は、常設消防ができた直後に決めたものですが、道路交通網の発展と、常設消防が完備した現在、二百二十名が適当かどうか、第四次総合振興計画の策定に当たって機関の配置と班の編成等、基本的な検討をする事となりました。

総務委員長
筒井卓徳



式の合間に談笑する団員

だより

委員会



の戦い

松くい虫と

経済 建設

平成十四年度松くい虫防除対策の基本的な考えとして、地域の被害状況に応じて適期の全量伐倒駆除を基本に予防事業、公共事業の導入など被害拡大防止対策を進めます。

一、くん蒸、破碎処理。信濃幹線沿いの松くい虫防止帯から広域農道までの区域を松くい虫被害木除去区域として、伐倒駆除を適期に実施する。早期に着手し労務調整を計る。又松林以外

への樹種転換を計る。

二、路側樹林帯整備事業はバス路線を中心に車道の沿線二十五メートル以内は伐倒搬出による駆除を考える。防災景観に配慮した森林整備を行う。

三、空中散布事業は被害の拡大を防止する観点から周辺の自然環境及び生活環境などに配慮しつつ地域の要望のある箇所については適確に実施する。

信濃幹線沿い(標高七〇〇か

ら八〇〇メートル)に松くい虫防止帯となるベルト地帯域を設定し、その地域から東の標高が高い方への松くい虫の侵入を防ぐ。

四、樹種転換事業は広域農道から西の天竜川沿いの地域は松林以外への樹種転換を進める。

*空中散布について
今年初めての新規事業であり、事前調査、水質検査等を行います。

め細かく行います。
散布時期 六月初旬七月初旬の二回散布をします。
使用薬剤 スミパイン乳剤
事業費 約九百八十万円
補助率 国県六六%村三四%
導い税金を使い、林業振興事業のご理解をお願い致します。

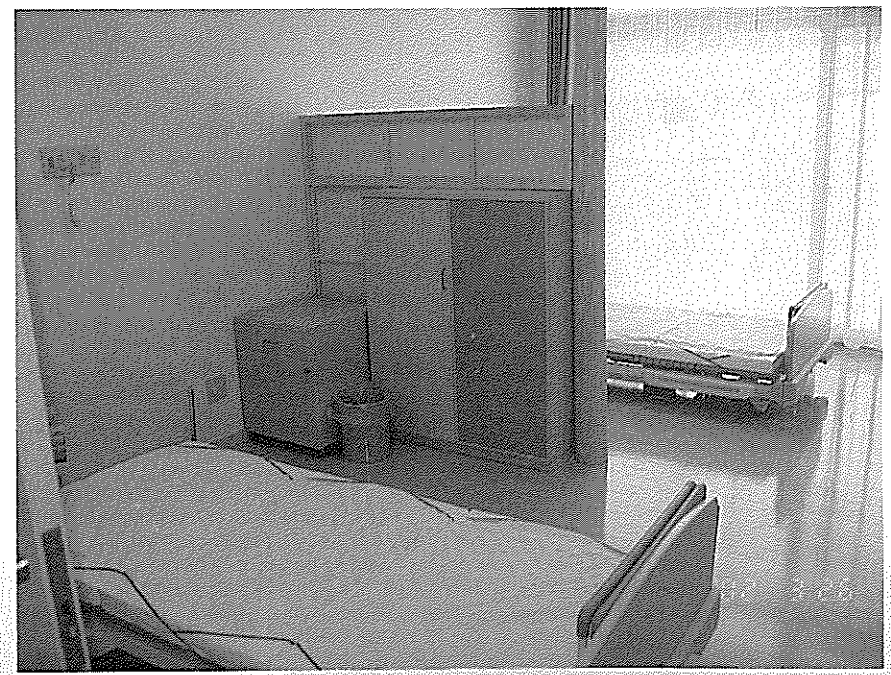
経済建設委員長
鹿角鉄男

民生費 衛生費

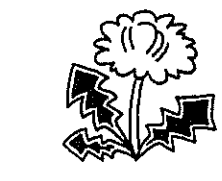
合わせて一〇億三千万円

- ◎民生費計四億八三〇〇万円
- 内訳老人福祉費 一億二、九九七万円
- 福祉医療費 三、二六四万円
- 障害者福祉費 一、九六八万円
- 老人居宅支援 四、〇一七万円
- 保育所費 一億二、一五六万円
- 児童措置費 一、七四二万円
- 児童クラブ費 一、二三七万円
- この中で南保育所大規模修繕六、五七三万が計上される。又小学校三年生迄医療費無料、保育料五〇〇万円軽減の子育て支援の内容
- ◎衛生費 五億五、一六六万円
- 内訳保健衛生費 三、四八八万円
- 環境衛生 二億五、六四六万円
- 上水道費 一、八二〇万円
- 下水道費 二億四、二一〇万円
- 労働諸費 六、二二二万円
- 衛生費については一億六千万の増で一般廃棄物処分場建設費が新たに計上。補助金の内示の見通しがつく。
- 労働諸費は雇用創出費用を新たに計上。 以上一般会計
- ◎特別会計
- 国民健康保険特別会計 四億一、三七〇万円
- 老人保健医療特別会計 八億二、四三〇万円
- 介護保険特別会計 三億五、八一〇万円

社会委員長
福沢幸雄



あさぎりの郷内部





長い歴史から成る我が日本、我が郷土、時代時代の先頭に立って舵を取って来た歴史上の人物は数えるに及ばない。我々に割に親しく感じさせる年号は、明治、大正、昭和の三時代となる。その訳は自分が昭和生れであるからと
 思うが、昭和時代を知る者としての想いは一言では語り切れない。とりわけ戦争と大震災等は知る人の記憶には新しい。現行平和憲法の制定により日本の未来ビジョンが確立された年号であったと理解している。大戦争、大震災、大事件がもたらした大貧困、日々の食糧もままならない状況下で我々を育ててくれた諸先輩の思いやり、助け合いの心は今日の世相からは想像を絶する。荒廃地と化した日本を長野県をそして我が郷土を現在の社会

私の一言

「日本の世の中大丈夫かな」
 地方分権の実現を
 林 原 大 原 晃

にまで作り上げたその時のリーダーには感謝と頭が下がる思いがする。世を語るにこの頃の世相に触れない訳には行かない。ここ数年政府は不況は脱した、景気は良い方向となった等と云うものの、国民、地方には一向にご利益の反応はなし、それどころか、年明けから国政政治家個人の不正スキャンダルの連発、テレビ新聞のニュースは一面三
 面政治不信記事が満載、事もあろうに野党の正義質問チェッカーまでがお粗末、日本の政治はどうなってしまうたのであろうか。日本丸をどこに向けて行くつもりなのか？ 国民を迷路に案内している様子にも感じる昨今、政府も地方の時代とか、地方分権にする等の題目を掲げて十有余年、これもスローガン倒れで真の実行は何時からか。今世の国政、県政は民益を逆なでしている様にしか思えないのは残念だ。従ってこんな世の中であればこそ国政を批判しながらも地方分権を現実の物にし末端自治の力を高める時と思う。

広域 議会

第一回定例会

南信州広域連合議会、十四年第一回定例会が二月二十一日開催され、一般会計、特別会計当初予算案等十八議案が原案通り可決された。

本年は新ゴミ焼却場の建設が終了する事、あさぎりの郷の建設や松川荘の大規模改修が終了した事、飯田環境センター予算が八ヶ月予算である事により、前年度当初比六〇・五%減となった。

◎特養管理運営負担金廃止
 特養入所者の出身市町村が、設置市町村に支払っていた「管理運営負担金」(一人八千円)は十二年度をもって廃止する事が正式に決まった。

◎十二月より本格稼働する新ゴミ焼却場の一般経常経費の五〇%を目標

◆14年度予算は下記の通り (△減)

(単位：千円)

会計区分	14年度	前年比	率(%)	豊丘村負担額
一般会計	170,500	5,100	103.1	6,309
ふるさと市町村基金特別会計	18,400	△13,850	57.1	0
ゴミ中間処理施設特別会計	638,300	△3,217,500	16.6	3,387
飯田部会	1,771,711	△53,227	97.1	108,111
阿南部会	400,589	11,827	103.0	0
特養老人ホーム特別会計	2,414,600	△842,700	74.1	180
阿南学園特別会計	288,000	2,000	100.7	47
飯田環境センター特別会計	793,000	△128,400	86.1	19,150
合計	6,495,100	△4,236,750	60.5	137,184

●地球温暖化のためか、今年の冬は暖かく春が一足とびに訪れ、桜の開花、農作物の進み具合が十日程例年より早いそうです。更につばめの飛来が一ヶ月も早く一体どうなってるのか、遅霜が心配されます。

●さて何時ものこと乍ら、国会においては政治と金にまつわる問題で離党だの辞職だの国民に取っては、絶望的とも云える政治不信を招いております。

一方景気は一向に回復の兆しすら見えず、社会不安に伴う犯罪の増加、倒産リストラに依る失業、四十代五十代の働き盛りの人達が職を失い生きる望みを断たれ、年三万人余毎日九人前後の方々が自殺に追い込まれているそうです。

後に残された家族は一体どうなるのか、資質に欠ける政治家の皆さん良心があったら少しは感じてほしいものです。

●早いもので私共の任期も後一年となりました。残された期間議員一同最後の務めとして、悔なき充実した活動を村民のため精一ぱい頑張る所存です。

編集後記